

2024年11月20日
国立大学法人東京藝術大学**東京藝大×JR東日本 上野駅ギャラリー「CREATIVE HUB UENO “es”」
おおつきしゅうと 個展「ニューメランコリー」開催のお知らせ**

この度、JR上野駅構内のギャラリー「CREATIVE HUB UENO “es”」（2024年4月開設）では、おおつきしゅうと 個展「ニューメランコリー」を2024年12月3日（火）から2025年1月13日（月祝）まで開催します。

グラフィックデザイナーのおおつきしゅうと氏は、2023年東京藝術大学 大学院美術研究科 修士課程 デザイン専攻を修了し、本ギャラリーのロゴやDM、ポスターのデザインも手がけています。その活動はクライアントワークにとどまらず、アイコンックと複製の関係性や都会のイメージを探求しながら、ドローイングや書体、書籍の刊行など多岐にわたるデザイン表現を探求しています。

本展では、企業のロゴやペットボトル・オフィスビル・デスクチェアの一部など、都心での生活を支える合理的なデザインを造形という観点から切り取り、ドローイングとして展示します。おおつき氏は機能が抜き取られた都会の景色を、単なる造形として提示することで新たな印象を私たちに与えます。

人通りが多く、特に忙しい年の瀬の上野駅の隙間で、現実の異なる側面が展示されます。

□主な展示作品

- 《ニューメランコリー》2024年、インクジェット用紙、サイズ可変
- 《ニューメランコリー誌面》2024年、インクジェット用紙、A4変形

□推薦コメント

おおつきしゅうとは、都市に残るモダニズムの残像をあえて対象とし、グラフィックデザインの文法を参照しながら、統一性や機能主義が残したアイコンを反芻する。その過程で、モノの形式美を見つめ直し、背景に潜む社会的文脈や経済的仕組みを再定義しているかのようである。

東京藝術大学 美術学部 デザイン科 第4研究室 教授 松下計

<開催概要>

- 展示会名：おおつきしゅうと 個展「ニューメランコリー」
- 会期：2024年12月3日（火）～2025年1月13日（月祝）
※会期中にイベントを予定しています。詳細は後日ウェブサイトでご案内します。
- 休場：月曜定休（祝日の場合は翌日に振替）
- 冬季休業：12月28日（土）～1月6日（月）
- 時間：11:00～19:00（最終入場 18:45） □入場：無料
- ウェブサイト：<https://ueno-es.jp/>
- 会場：CREATIVE HUB UENO “es” 東京都台東区上野 7-1-1（上野駅浅草口付近）

■おおつきしゅうと | 作家プロフィール



1996年 東京生まれ。
 2020年 多摩美術大学統合デザイン学科卒業
 2023年 東京藝術大学 大学院美術研究科 修士課程 デザイン専攻 修了

グラフィックデザイナー/アートディレクター。高度情報化社会における批評的なグラフィックデザインのあり方をテーマにシンボル・VI システム・文化事業の広告のアートディレクション・デザインを手がける。自身で運営するスタジオ non-sensu から書体や雑誌を不定期で刊行。

○展示会歴

2019年 「もぬけの形」(The secret museum)
 2020年 TokyoTypeDirectorsClub2020 参加 (Ginza Graphic Gallery)
 2021年 「Japan Graphic Design Exhibition2020 - I'M POSSIBLE」 (798ArtBridge / MUSEu&m) 参加
 2021年 「non-sensu」(オルタナティブスペース F/Actory)
 2023年 「MANIFEST EXCHANGE」(神楽坂 √k gallery) 参加
 2023年 「non-sensu」(ginza metro gallery__JP)
 2024年 「とても便利な線」(copy center gallery)

□過去の作品



Photo by Ryo Yoshiya

《non-sensu》2023年、合成ゴム・版画用インク

文字の誕生と逆の順を辿り、あらゆる情報が消費されていく。情報の飽和の時代、無意識下でさまざまなオブジェクトが自動的に記述されていく。ある視点からの現在の破片を集めて再編集する。それはグローバリゼーションの只中を生きる者が現在を語る上で構築した新たな言語。



Photo by Ryo Yoshiya

《とても真面目な線》2024年、木製版画・版画用インク

作品と商品、道具は並列な存在として会場に配置することで、日常的に目にしているはずの物体や視覚情報の既知と未知の境目を曖昧にします。机に置かれている印刷機や書籍は、美術作品か、又は販売中の書籍なのか。ポスターを刷る作業は、美術パフォーマンスなのか、或いは印刷作業なのでしょうか。

■CREATIVE HUB UENO “es”とは

東京藝大と JR 東日本の包括連携協定の第一弾として、上野駅の交番跡地をリノベーションし誕生したギャラリーです。

東京藝大の学生・卒業生の若手アーティストの作品を展示し、時代を映し出す芸術作品に触れ合う機会をつくります。また、上野駅全体を美術館に見立て、駅構内に点在するアート作品等をご案内し、多様な文化交流の場を創出していきます。ギャラリー名の“es”（エス）とは、心理学用語で「無意識の領域」を指し、多様な欲望やエネルギーを内在し、小さくとも無限の表現領域を体現できるスペースを目指して命名しました。



【このプレスリリースのお問合せ】 CREATIVE HUB UENO “es” 運営事務局

東京都千代田区東神田1丁目13-3 商品部ビル5階

電話：03-5809-1653 メール：info@ueno-es.jp (担当：穴戸・森田)